

磐城時報

本報發行所 磐城郡磐城町
電話 二二二
印刷所 磐城印刷局
電話 二二二
代印所 磐城印刷局
電話 二二二
廣告料 一行五十字 一月五元
一月以上 九折
三月以上 八折
半年以上 七折
一年以上 六折
日刊 日曜休 祝日休

入山炭礦不慮の災禍

第六坑でガス爆發

原因は自然爆發か?

三十日午後三時半ころ湯本町入山炭礦第六坑北二電卸下一片坑の附近は安否を氣遣ふ數百の群衆が突如一大音響とともにガスを持つてゐる。

爆發の椿事勃發、折柄入坑中の同坑主務技師原義夫氏(三三)職員現場遠藤庄司(四〇)外四十七名の採炭夫は大火傷を負つて即死、三名の採炭夫は瀕死の重傷を負つた。同炭礦は十數年來の不況を切り抜け最近炭礦の向上により面目一新地方屈指の優良炭礦の内容を具備するに至り去月中盛大な四十周年の祝典を舉行した直後の災禍だけに三千名の従業員は悲嘆は勿論一般から多大の同情を寄せられてゐる。

爆發の原因については技術方面並に急行した柴田平署長等の調査によつて不可抗力的な自然爆發と大体決定した。

變事發と同時に坑務所當局では大越技師指揮の下に百五十餘名の決死隊を組織、モウ(たる)噴煙の中を冒して防毒マスクを使用幸ふじて入坑救出作業を開始したが、大火傷と坑内に發生湧出した一酸化炭素のために既に大半は即死してゐた。

午後五時重傷の採炭夫小林仁君(三三)が傷残の身を短架に横へられて救出されたのを最初に、やがて三人、四人の犠牲者の骸が搬出される。

貴き殉難者の氏名

遺族合計四十八名

- 千葉縣印旛郡富里村中澤 原 義雄(三三)
内郷村高坂 遠 藤 庄司(四〇)
栃木縣下都賀郡稻葉村 高 久 泰吉(二六)
東京市下谷區三崎町 神 田 充(二九)
石川郡大森田村 關 新 二(三五)
双葉郡野村 熊 本 清(三二)
安達郡戸澤村 齋 藤 功(二六)
伊達郡齋藤村 岩 崎 周 作(四〇)
草野村大字下神谷 青 木 春吉(三四)
秋田縣仙北郡南檜岡村 佐 藤 繁 藏(二二)

醫師總動員

醫師室の光景

救出された遭難者は直ちに臨時醫務室に當てられた第六坑口救習場に收容される。

入山病院増山院長以下六名の醫師と磐城、古河兩炭礦病院から應援出張した六醫師と、平町増田、井坂囑託醫が全力を擧げて應急處置を施すが、遭難後數時間を經過してゐるので手の下しやうがない。

かくしていまは變り果てた四十名の屍は次々と遺族の手に涙とともに引取られて行つた。

二日盛大な社葬

懇篤な弔慰方法を講ず

平穩な遺族達

坑務所では取敢へず三十日遭難者の各戸に見舞金一封を贈り慰三十日午後九時までは坑に充問したが、三十一日は全山臨時満了してゐるガスも全部排出され休業して弔意を表し明日は各事故遺族の喪れも絶無なので二日盛大な合同慰靈社葬を執行し、貴い犠牲に應へることになつた。

なほ當日は各遺族にそれとなく香奠を贈り追て相當高額の災害扶助料を支給する等、この當局的誠意に對し遺族達はいづれも感泣してをり全山頗る平穩で労働者の動向調査のため急行して来た縣特高課小野寺警部補、笠原部長らもこの静肅を見て喜んでゐる。

なほ入山本社渡邊専務、太田理事は吉田所長と共に三十一日遭難家族を一々訪問深甚な弔意を表するところであつた。

二・三日中に復舊探炭に支障なし

最優良の六坑

ガス爆發のあつた第六坑は昭和七年開鑿以來平均月産三萬噸を出發、その炭質は入山第一の優良炭として定評あつた。從來ガスの發生の事故は全然なく落磐等も極めて稀れで事故僅少の坑道として當局が誇つてゐたもので、事件のあつた個所は坑口から斜距離四百尺、地表下千五百尺、六坑中最奥の個所であつた。

- 茨城縣多賀郡關南村 長谷川 重(四九)
同 伊 夫(二四)
勿來町大字酒井 重(三五)
磐城郡縣字上湯長谷 榮(二三)
双葉郡縣野村 善 一(二二)
宮城縣栗原郡當澤村 久(三〇)
磐城郡 關 藤 吉(三九)
東白川郡高城村 庄之助(二七)
岩手縣江刺郡伊手村 美(二〇)
伊達郡大綱木村 愛 丸(二六)
好間村大字北好間 佐々木 長次郎(三三)
岩手縣江刺郡伊手村 芳 見(二五)
石川郡石川町 善三郎(二七)
岩手縣大字藤原 彌(三五)
相馬郡石神村 市次郎(四一)
栃木縣安蘇郡萬生町 恒 男(二七)
岩手縣東磐井郡興田村 工(二四)
石川郡山橋村 龜 治(二五)
泉村大字小高 常 三(二八)
山形縣東置郡藤田村 藤田 七(二九)
岩手縣東磐井郡興田村 喜太殿(二七)
山形縣南置郡南原村 佐々木 喜太殿(二七)
岩手縣東磐井郡興田村 文四郎(二四)
夏井村大字山崎 竹 雄(二四)
安達郡水澤村 本 勝 馬(一八)
山形縣最上郡小國村 興太郎(二八)
栃木縣芳賀郡中川村 松(四二)
山形縣山形市下條町 武 田 小三郎(三四)
西白川郡小野田村 渡 邊 西 藏(三三)

- 山形縣北村郡東郷村 菅 富 藏(三一)
東白川郡笹原村 松 本 忠 藏(三七)
相馬郡補浦村 道中内 清(二六)
石川郡石川町 留 吉(三二)
相馬郡金房村 山岸 一 男(二五)
西白川郡白河町 小林 仁(二三)
重傷者 穴澤義雄(三五) 蜂谷新之助(三八) 引地進(二九)

果敢なその行為 變事を最初に報告して来たのは常員小林仁君である。

同君は爆發の際三間餘もふつ飛ばされ臀部に重傷を負ひながら同僚の身を思ふの餘り苦痛を物ともせず

直に坑内事務所に急電、同所から坑務所に中繼されて始めて變事の起つたのが判つたわけで、同君の勇敢な行為には入山全山擧げて深く感謝を捧げてゐる。

しかも奇蹟的な生存者として最初に救出された同君も三十一日午前五時遂に絶命した。

急變第一報の 殊勳者小林君

櫻井記者逝く

相馬郡原町本社記者櫻井忠陸氏は永らく病氣中の處二十九日死去した。葬儀は一日午後二時自宅で執行する。

四倉町小學校には昨三十日午前九時より學務委員會を開き左の協議をなした。

一、青年學校々名改正の件

二、學則變更の件

夏の新選品陳列中.....

麥帽 50 70 1.00

正 中野洋品店 平二電五三

パナマ帽 本草パナマは弊店獨特の味ひと豊富さを誇ります。是非御批評下さいませ!

お節旬の
カンワ餅用粉の御用意が
出来ましたか
◎例年の通りかしわ餅用粉製粉を始めました待つて居るうちに粉に出来ず多少に拘らず御用命の程をうごん製造 平町古鍛冶町杉ノ澤
並に製粉 永島うごん製造所
うごん賃打 製粉部
粉賃挽

氷水界の先進者
流線ケーキ
一個一錢

今同時代の要求に應じ右の飲み物を始めました。御利用は御客様御來訪の折の御茶代用に、旅館、料理店様の御座敷用御茶がはりに、御子様方のおやつがはりに色々御利用出来ませう。何卒御試食下さい。配達は五個以上

平三警署裏通り
魚清食堂
電話六三三番

吸入用酸素 純度99%

モノサシ
マカス
ハカリ
体温器
寒暖計

秤ノ取緒・鍾糸・修覆致シマス
寫真機
材料一式
内藥局
電話四〇番

平町四丁目(電四三六)
正 正礼堂洋服店

ソルクボークーコート 七圓五十錢
ソルクボークーコート 六圓五十錢
◎セルクボークーコート 四圓六十錢
小学生夏服一號 四圓十錢
中学生夏服最上品六號 一圓四十錢
中学生トロンダグメント 一圓五十錢
正礼堂トロンダグメント 四圓九十錢

カクテル
17キタヒデテン352
レストラン

コンホーク
塩豚
平町田町
三三三三屋
電話三三三番

近代趣味……
パラソル豊富陳列
ピツルヤ
電一四〇

夜
腸胃病
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
泌尿器病科
皮膚病科
肛門病科
門專
院醫科性病胃腸村松
(番七〇一電 平町南町)
療間

貸切の御用命
せひ……三井自動車部へ!!!
電話六八五番……へ
乗合は好間、合戸、澤渡方面行

耳鼻咽喉科専門
鈴木木醫院
醫學士 鈴木木正男
平町田町藤田女學校前
(入院の便あり) (電話五八番)

診療科目
一、齒科一般
補綴科
矯正科
小兒齒科
齒槽膿漏科
二、口腔外科
レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科 中野 憲次
醫學士 西川 誠
平町田町(松月堂向)
電話五〇九番

移轉御知らせ
弊店明治三十八年創業以來四町目川岸通りに營業致し居り候處幸に皆様の信用を博し格別の御引立を蒙り隆盛に趣き候段厚く御禮申上候
扱て此度營業擴張の餘儀なきに至り大町五番地へ移轉仕り候間不相變御引立被下度御願申上候
先づは紙上を以て御知らせ申上候
移轉先 平町字大町五番地(警察署通東四ッ角)
永山洗染工場
工場主 永山 眞彦
従業員一同

最近貴地方に當會社株券を持めぐり金融を求め居るものある由承り候も右は失効株券(但し乙第一五一號より一六〇號迄)にて既に公告済のものに有之候間御注意有之度候
尙當社株式は目下湯本證券合資會社、全平出張所平町字大町三共商事合資會社に於て賣出し居候に付兩店に於て御取引被下度候
昭和十年五月卅一日 敬具
東京市京橋區東京ビル
富國鑛業株式會社
取締役社長 平岡久治

座敷食堂の設備あり
一品料理
御料理
かば焼
うな井
かば焼
榮
平町 電話四二四